

| 事務事業 | 69 | 日本語学習への支援 | | | | | |
|--|---|------------------------|--------|--------|--------|----------|--|
| 章 | 2 | ともに学ぶ、文化とふれあいのあるまち | | | | | |
| 大項目 | 05 | 平和の推進と国際化への対応 | | | | | |
| 施策 | 02 | 国際化に対応した地域社会づくり | | | | | |
| 事業内容 | | | | | | | |
| 目的 | 新宿区で生活している外国人の言語に対する不安を取り除くことで、多文化共生を推進します。 | | | | | | |
| 対象・手段 | 区が日本語教室を実施することにより、外国人の日本語学習の機会の充実を図ります。 また、ボランティアが自主的に運営する日本語教室のネットワークづくりと活動への支援を行います。 | | | | | | |
| 成果(事業が意図する成果) | | | | | | | |
| 日本人と外国人のコミュニケーションの促進や、外国人が日本の生活習慣を身につけ、地域の一員として生活していくことの手助けを図ることができます。 | | | | | | | |
| 事業成果指標 | | | | | | | |
| 指標名 | 定義 | 目標水準 | | | | | |
| 日本語教室の会場数 | 日本語教室の地域展開 | (平成19年度に 8か所)の水準達成 | | | | | |
| 日本語教室及び日本語教授法講座の参加者数 | 日本語教室の参加者数 360人 日本語教授法講座の参加者数 120人 レベルアップ講座の参加者数 90人 | (平成19年度に 570人)の水準達成 | | | | | |
| 日本語学習コーナーでの学習者数 | 日本語学習コーナーでの活動・利用実績 日本語学習コーナーでの学習会への参加者数15名/回×4回/週×52週(年間)=3,120人 | (年度に 3,120人)の水準達成 | | | | | |
| 成果の達成状況 | | | | | | | |
| | 単位 | 平成16年度 | 平成17年度 | 平成18年度 | 平成19年度 | 備考 | |
| 事業成果指標 | 目標値1 | か所 | 0.00 | 8.00 | 8.00 | 8.00 | 日本語は生活する上での基本となる言語です。目標値2は18年度に目標水準を達成したため、19年度は、そのことを踏まえて、新たな目標値を設定しました。 目標値3についても、日本語学習コーナーでの学習会の対象人数と開催回数を見直しを行いました。 |
| | 実績1 | か所 | 0.00 | 8.00 | 8.00 | 8.00 | |
| | = / | % | 0.00 | 100.00 | 100.00 | 100.00 | |
| | 目標値2 | 人 | 0.00 | 520.00 | 520.00 | 570.00 | |
| | 実績2 | 人 | 0.00 | 377.00 | 432.00 | 642.00 | |
| | = / | % | 0.00 | 72.50 | 83.08 | 112.63 | |
| | 目標値3 | 人 | 0.00 | 0.00 | 624.00 | 3,120.00 | |
| | 実績3 | 人 | 0.00 | 0.00 | 888.00 | 3,558.00 | |
| | = / | % | 0.00 | 0.00 | 142.31 | 114.04 | |
| 事業の実施内容 | | | | | | | |
| 平成18年度 | 日本語学習コーナーでの日本語教材・資料の整備・閲覧 ボランティア主体による各種日本語学習会の開催 日本語教室の運営、日本語教授法講座・レベルアップ講座 日本語ボランティア教室のネットワーク化と支援 | | | | | | |
| 平成19年度 | 日本語学習コーナーでの日本語教材・資料の整備・閲覧 ボランティア主体による各種日本語学習会の開催 日本語教室の運営、日本語教授法講座・レベルアップ講座 日本語ボランティア教室のネットワーク化と支援 | | | | | | |

| 部名称 | | 地域文化部 | | 課名称 | | 文化観光国際課 | |
|---|---|-------|--|--------|--------|---------|-----|
| | | 単 位 | 平成16年度 | 平成17年度 | 平成18年度 | 平成19年度 | 備 考 |
| トータルコスト | 事業費 | 千円 | 0 | 8,082 | 8,082 | 7,720 | |
| | 人件費 | 千円 | 0 | 2,501 | 2,484 | 2,478 | |
| | 事務費 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 減価償却費等 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 総計 = + + + | 千円 | 0 | 10,583 | 10,566 | 10,198 | |
| | 受益者負担 | 千円 | 0 | 1,880 | 2,137 | 2,234 | |
| | 純計 = - | 千円 | 0 | 8,703 | 8,429 | 7,964 | |
| | 受益者負担率 / | % | 0.00 | 17.76 | 20.23 | 21.91 | |
| 財源内訳 | 一般財源 = - | 千円 | 0 | 8,703 | 8,429 | 7,964 | |
| | 特定財源 | | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 一般財源投入率 / | % | 0.00 | 82.24 | 79.77 | 78.09 | |
| 職員 | 常勤職員 | 人 | 0.00 | 0.30 | 0.30 | 0.30 | |
| | 非常勤職員 | | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | |
| 事業に関する検討課題 | | | | | | | |
| <p>外国人が日本語を学びながら、日本の生活習慣やマナーを身につけることができるように工夫し、さらに充実することが課題です。</p> <p>外国人の日本語学習を支援する指導者を育成するとともに、日本語ボランティア団体をネットワーク化することにより相互の連携を図ることが求められています。</p> <p>近年、成人のみならず、来日間もない外国人の子ども日本語学習も課題になってきています。</p> | | | | | | | |
| 評価基準に基づく評価と理由 | 達成度 | 3 | 日本語教室の地域バランスを考えた広範囲にわたる展開が実現しました。またプラザ内日本語学習コーナーでは、ボランティアが主体となった日本語学習会の開催など、工夫を重ねています。日本語教室・教授法の参加者も増え目標値の112.6%を達成しました。 | | | | |
| | 実施の成果 | 3 | 日本語教室の普及により日本語教室と教授法ともに参加者が増えました。また外国人の学習者の中から、今度は自分の母国の文化と言語を教えたいという自主学習グループも生まれてきています。日本語教室から相互交流の芽が確実に生まれてきています。 | | | | |
| | 効率性 | 2 | 日本語ボランティアを活用することで、地域住民との協働により事業を実施しています。新宿文化・国際交流財団に事業を委託することで、長年の実績や経験を活かして、効果的・効率的な運営ができていますと評価します。 | | | | |
| | 行政の関与 | 3 | コミュニケーション手段としての日本語能力は、地域住民同士の交流のために必要です。外国人の誰もが気軽に日本語を学習しやすい環境づくりは区の役割です。また、NPO団体等には、講座の講師等を担ってもらっており、適切な役割分担と評価しています。 | | | | |
| | 妥当性 | 3 | スキルアップのための上級講座やボランティア向け講座など、ニーズに合わせ、様々な講座を開催しています。また、日常会話の他、緊急時の対応や地震対策など、生活に密着したテーマを取り上げていることなどから、指標の設定は妥当であると評価しています。 | | | | |
| | 施策寄与度 | 3 | この3年間で日本語教室の参加者は増加傾向にあります。国際化に対応した地域社会づくりのためには、区で生活する外国人への日本語学習支援は重要であり、施策目的達成に大いに寄与しているといえます。 | | | | |
| 総合評価 | 日本語を教えたいボランティアを対象としたレベルアップ講座など、現場のニーズに合わせた講座を開催することで、増加を続ける学習者に対して学習機会の充実と普及を図ることができました。よって19年度の評価をAとしました。過去3年間では、日本語教室の会場を見直し、より広い地域で展開しました。外国人が参加しやすい環境を整備することにより、日本語教室の参加者を増やすことができました。さらに外国人の学習者の中から、今度は自分の母国の文化と言語を教えたいという自主学習グループも生まれました。日本語学習の場から相互交流の芽が確実に生まれてきています。これらの成果は多文化共生のまちづくりを大きく推進させるものであり、Aと評価します。 | | | | | | |
| | A 過年度評価 18年度 A 17年度 B 16年度 15年度 | | | | | | |
| 改革方針 | 新宿区には多くの外国人が生活しているため、日本語学習の支援は重要な事業です。今後は、日本語の学習だけでなく、日本の生活習慣やマナーも身につけることができるよう内容をさらに充実するとともに、地域住民と外国籍住民の相互交流の場としても寄与していきます。 | | | | | | |
| | また、課題欄にも記載したとおり、近年、来日間もない外国人の子ども日本語学習も課題になってきています。そのため、民間ボランティアによる日本語教室、NPO、教育委員会等とも連携を進め、さらに効果的な取り組みとなるよう工夫していきます。今後は、経常事業「日本語学習への支援」として、日本語学習への支援に引き続き取り組んでいきます。 | | | | | | |
| 2 方向性 手段改善 | | | | | | | |